

平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年1月30日

上場取引所 東

上場会社名 エスビー食品株式会社

コード番号 2805 URL <http://www.sbfoods.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山崎 雅也

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理サポートグループ担当 兼 財務管理室長 (氏名) 寺尾 隆一郎

TEL 03-3668-0551

四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	93,599	△2.0	4,236	△5.4	4,417	△1.7	2,784	0.3
26年3月期第3四半期	95,521	△1.8	4,478	17.1	4,494	24.2	2,775	28.3

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 3,543百万円 (11.5%) 26年3月期第3四半期 3,178百万円 (27.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	402.92	—
26年3月期第3四半期	399.62	—

平成25年10月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施いたしました。前期第3四半期の「1株当たり四半期純利益」は、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	104,039	33,560	32.3
26年3月期	100,541	31,484	31.3

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 33,560百万円 26年3月期 31,484百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	7.00	—	35.00	—
27年3月期	—	35.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	35.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成25年10月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施いたしました。平成26年3月期第2四半期については、当該株式併合前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	122,000	△1.6	4,500	1.8	4,000	2.1	2,300	11.9	332.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご参照ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期3Q	6,977,117 株	26年3月期	6,977,117 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

27年3月期3Q	203,918 株	26年3月期	33,440 株
----------	-----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期3Q	6,909,498 株	26年3月期3Q	6,944,510 株
----------	-------------	----------	-------------

平成25年10月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施いたしました。前期第3四半期の期中平均株式数は、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、発表日現在において入手可能な情報及び合理的と判断される前提に基づくものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後様々な要因によって異なる場合があります。上記業績予想に関する事項につきましては、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

	頁
1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
4. 補足情報	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善が見られるなど、緩やかな回復基調が続きましたが、一方では、消費税増税後の個人消費に弱さが残るとともに、円安の進行に伴う物価上昇や海外経済の動向など懸念材料もあり、先行き不透明な状況で推移いたしました。

食品業界におきましては、実質所得の伸び悩みなどにより、お客様の節約志向は依然として強く、また、原材料価格上昇への対応を求められましたことから、厳しい環境が続きました。

このような状況のなかで、当社及び連結子会社は、企業理念「真の顧客満足の追求」のもと、お客様の視点に立って、スパイスとハーブを核とした事業活動を推進してまいりました。価値ある製品の開発、きめ細かな営業活動やプロモーション活動を展開いたしますとともに、全社的な経費削減活動を推進し、引き続き利益の確保に努めてまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は前年同期比19億21百万円減の935億99百万円（前年同期比2.0%減）となりました。

セグメント別の業績は、以下の通りであります。

なお、各セグメントの売上高は、セグメント間内部売上高消去後の数値を記載しております。

(1) 食料品事業

売上高は、前年同期比23億4百万円減の853億74百万円（同2.6%減）となりました。

(2) その他

売上高は、前年同期比3億82百万円増の82億25百万円（同4.9%増）となりました。

セグメント及び製品区分別の連結売上高の詳細につきましては、9ページ「4. 補足情報」をご参照ください。

利益面におきましては、経費削減に努めましたものの、原材料価格の上昇等により売上原価率が増加したことから、営業利益は前年同期比2億42百万円減の42億36百万円（同5.4%減）、経常利益は前年同期比76百万円減の44億17百万円（同1.7%減）となりましたが、四半期純利益は、法人税等の減少などにより、前年同期比8百万円増の27億84百万円（同0.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末と比較して34億98百万円増加し、1,040億39百万円となりました。これは主に、現金及び預金の減少60億14百万円などがあったものの、売上債権の増加68億55百万円、有形固定資産の増加18億95百万円などがあったことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比較して14億21百万円増加し、704億79百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末と比較して20億76百万円増加し、335億60百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加20億58百万円などがあったことによるものであります。この結果、自己資本比率は32.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年5月14日に発表いたしました平成27年3月期通期の連結業績予想につきまして、変更を行っておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準とし、割引率の決定方法を、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る負債が394百万円増加し、利益剰余金が253百万円減少しております。なお、これによる当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響額は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,360	12,345
受取手形及び売掛金	22,455	29,310
商品及び製品	4,362	4,446
仕掛品	1,425	1,470
原材料及び貯蔵品	4,745	5,355
その他	7,491	6,456
貸倒引当金	△1,465	△1,716
流動資産合計	57,375	57,667
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	10,251	11,518
機械装置及び運搬具(純額)	4,242	5,485
土地	10,023	9,957
その他(純額)	3,094	2,545
有形固定資産合計	27,612	29,507
無形固定資産		
のれん	16	13
その他	516	479
無形固定資産合計	532	493
投資その他の資産		
投資有価証券	5,826	6,617
その他	9,883	10,461
貸倒引当金	△688	△707
投資その他の資産合計	15,020	16,371
固定資産合計	43,165	46,372
資産合計	100,541	104,039

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,256	11,493
短期借入金	23,995	24,193
未払法人税等	1,153	713
賞与引当金	1,064	550
資産除去債務	59	—
その他	11,615	11,888
流動負債合計	48,145	48,839
固定負債		
長期借入金	10,339	11,917
債務保証損失引当金	396	195
退職給付に係る負債	7,240	7,521
資産除去債務	111	112
その他	2,823	1,892
固定負債合計	20,911	21,639
負債合計	69,057	70,479
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,744	1,744
資本剰余金	5,337	5,337
利益剰余金	27,719	29,777
自己株式	△122	△848
株主資本合計	34,677	36,010
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,324	1,849
土地再評価差額金	△3,839	△3,852
為替換算調整勘定	△1	54
退職給付に係る調整累計額	△677	△501
その他の包括利益累計額合計	△3,193	△2,449
純資産合計	31,484	33,560
負債純資産合計	100,541	104,039

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	95,521	93,599
売上原価	54,518	53,946
売上総利益	41,003	39,653
販売費及び一般管理費		
販売促進費	22,090	21,305
その他	14,434	14,111
販売費及び一般管理費合計	36,524	35,417
営業利益	4,478	4,236
営業外収益		
受取利息	76	65
受取配当金	123	140
不動産賃貸料	24	20
貸倒引当金戻入額	127	225
為替差益	51	97
その他	103	99
営業外収益合計	506	648
営業外費用		
支払利息	462	440
その他	28	26
営業外費用合計	491	467
経常利益	4,494	4,417
特別利益		
投資有価証券売却益	92	—
債務保証損失引当金戻入額	—	201
その他	26	72
特別利益合計	118	273
特別損失		
固定資産除却損	38	126
減損損失	10	91
投資有価証券評価損	—	4
貸倒引当金繰入額	—	202
債務保証損失引当金繰入額	6	—
その他	43	6
特別損失合計	99	432
税金等調整前四半期純利益	4,513	4,259
法人税、住民税及び事業税	1,954	1,564
法人税等調整額	△215	△89
法人税等合計	1,738	1,475
少数株主損益調整前四半期純利益	2,775	2,784
四半期純利益	2,775	2,784

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,775	2,784
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	374	524
土地再評価差額金	—	2
為替換算調整勘定	28	56
退職給付に係る調整額	—	175
持分法適用会社に対する持分相当額	0	0
その他の包括利益合計	402	759
四半期包括利益	3,178	3,543
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,178	3,543
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成26年10月31日開催の取締役会決議に基づき、自己株式190,400株を799百万円で取得いたしました。当第3四半期連結累計期間における自己株式は、主にこの取得により725百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式は848百万円となっております。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	食料品事業				
売上高					
外部顧客への売上高	87,678	7,842	95,521	—	95,521
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	87,678	7,842	95,521	—	95,521
セグメント利益	4,276	169	4,445	32	4,478

(注) 1. 「その他」は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、調理済食品、外食事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額32百万円は、セグメント間取引消去32百万円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	食料品事業				
売上高					
外部顧客への売上高	85,374	8,225	93,599	—	93,599
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	85,374	8,225	93,599	—	93,599
セグメント利益	4,194	8	4,202	33	4,236

(注) 1. 「その他」は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、調理済食品であります。

2. セグメント利益の調整額33百万円は、セグメント間取引消去33百万円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4. 補足情報

セグメント及び製品区分別連結売上高

当第3四半期連結累計期間におけるセグメント及び製品区分別の連結売上高は以下の通りであります。

(単位：百万円)

セグメント及び製品区分	前第3四半期 (累計)	当第3四半期 (累計)	増減額	増減の主な要因
食料品事業	87,678	85,374	△2,304	
スパイス&ハーブ	16,474	16,814	339	シーズニングスパイス (増加)
即席	22,481	22,734	253	即席カレー (増加)
香辛調味料	21,974	22,800	825	中華製品、チューブ製品 (増加)
インスタント食品その他	26,748	23,024	△3,723	レトルト製品、パスタソース (減少)
その他	7,842	8,225	382	調理済食品 (増加)
計	95,521	93,599	△1,921	